令和８年１１月１日発行　№235

湖畔の風

★田瀬湖さわやかウォーキング

10月25日(日)第14回田瀬湖さわやかウォーキングが開催されました。地区内、市内の方18名の参加で紅葉が始まった田瀬地内約５キロのコースをウォーキングしました。

当初は、海洋センターを出発して、白銀橋(吊り橋)をわたり、花火工場下からダム湖を船で遊覧して海洋センターに戻る予定でしたが、船の遊覧ができなくなったことから、コースを変更しました。

旧たんせドライブイン駐車場から白銀橋→田瀬大橋→旧たんせドライブイン駐車場までのウォーキングとなりました。船の遊覧を楽しみにしていた方には大変申し訳なかったのですが、途中で雨に降られたわりには過ごしやすい気温で、うっすら汗ばむくらいの程よい運動量になったのではないかと思います。歩数計の表示は約8,500歩になっていました。楽しくお話をしながら歩いたり、吊り橋や田瀬大橋からの景色をカメラにおさめたり、皆さんそれぞれのペースで歩き、晩秋の田瀬を楽しみました。

そのあとは、振興センターまでそれぞれ自家用車で戻り、女性部が作ったおいしい芋の子汁とまつたけご飯をいただきました。



田瀬大橋で記念写真



途中何度か雨に降られましたが、歩くのに邪魔になる雨ではありませんでした



白銀橋を渡るのちょっと怖いわー



歩道のないところでは車に十分注意して



歩いた後のまつたけご飯と芋の子汁はおいしかった!!

田瀬のみのりまつり開催



田瀬地区の最大イベント「田瀬のみのりまつり」は、昨年の雨とはうって変わり晴天の下、１０月４日(日)開催されました。市内、遠野(宮守)、沿岸各地からおよそ500名の来場があり、盛大に開催することができました。

まつり当日、のろしを合図に「第13回田瀬のみのりまつり」が開会。門岡実行委員長のあいさつにはじまり、菅原会長のあいさつ、来賓の東和総合支所地域振興課長伊藤潤さん、市議会議員の内舘桂さんの祝辞の後、アトラクションとして早池峰岳流白土神楽八幡舞を舞っていただきました。例年演奏している清流田瀬こども太鼓は人数がそろわず、急きょお願いしての神楽舞でした。女性二人による力強い舞は会場を盛り上げました。

今年から、もちつき振舞をもちまきに変更し、実行委員長、会長、来賓により４００個のもちがまかれました。２００名程の来場者が、松茸の当たりクジ(2本)を目当てにもち拾いを行いました。

松茸組合では、松茸・ばくろ等キノコの販売。例年より量は少なく残念ながら買えない人が多数いました。

小倉自治会ではナメコ・アミノメすくい、舞茸・乾燥椎茸の販売。ナメコ・アミノメすくいが大盛況で長い列となりました。



ナメコすくい

小倉農家組合では、農産物や野菜販売、飲物等の販売を実施。

炭窯クラブでは、5k 入り１０個を販売、炭の詰放題を１４人がチャレンジしました。

中通自治会では、鮎の塩焼・ほたて・イカ焼完売。ピザも、長蛇の列が出来、予定の６０枚完売、来年は１００枚予定しています。



鮎の塩焼。イカほたてもあるよ

白土農家組合では、松茸ご飯の販売を実施。野菜部会では、リンゴ、キャベツ、大根等の販売。

田瀬女性部では、母ちゃんのいなか食堂を開設し、松茸ごはん、舞茸ご飯、中華そば、キノコ汁等を完売しました。来場者の声を聞くと、とてもおいしかったとの評判でした。



きのこは販売開始から
10 分で売り切れ









大抽選会
炭が当たりました



上　もちまき。たくさんの人が集まりました。
下　大当たり
まつたけゲット

異聞 田瀬の歴史 第49回

≪「清流田瀬こども太鼓」草創期の思い　第３回≫

この頃に「清流田瀬こども太鼓・育成会」が結成され、伊藤美徳さんが初代会長に推されて、積極的にご尽力していただきました。

星先生は「色々な物を叩けば、それぞれの音が出る。その音を組み合わせると音楽になる。」と言うお話をよくなさいました。このことは、教育と関係ある言葉だと思います。

それぞれの可能性を秘めた子どもたち、個性を持った子どもたちの無限の力を引き出し、組み立て伸ばす働きが教育だと思います。

太鼓以外に「鉄パイプ打楽器」「唐竹打楽器」「拍子木打楽器」などを取り入れ、それぞれの音を組み合わせて、「田瀬らしい創作太鼓」の創造に努めました。

運動会終了後、「子どもたちに半纏を・・・」という声が出て、検討会を開催し父母の間で検討されました。色々協議の結果、地域の方々のご芳志を頂戴し、半纏をあつらえることにしました。

子どもたちは、７月の下旬に予定されている「全国森と湖に親しむ」祭典に出演するために、星先生、山口太鼓の指導で練習が続けられました。田瀬太鼓のことが町内の方々に知られるようになり、各方面から出演依頼がありましたので、喜んで出演させていただきました。先生方・育成会の方々のご苦労が思い出されます。

いよいよ７月下旬に「全国森と湖に親しむ祭典が田瀬湖・湖上ステージ」で「清流田瀬子ども太鼓の発表」が行われます。今日の日を目指して頑張ってきた成果を発表する祭典です。湖上にセッティングされた大きなステージで眩いほどの照明・大きなスピーカー・１万人程の観客を前にしての発表でした。見事な発表で、私にも突然のインタビューを受けることになったのです。こんな大観衆の前で話すことは初めてのことで、大勢の観客を前にして緊張感一杯で、ドキドキだったので何を聞かれ何と答えたのか全く覚えていません。

子どもたちは練習の成果を十二分に出し切り、観客から大きな拍手を頂いたことを覚えています。初めての大舞台で力いっぱい太鼓を打ち鳴らした満足感で一杯の子どもたちの表情がまばゆかった。最高の太鼓発表でした。



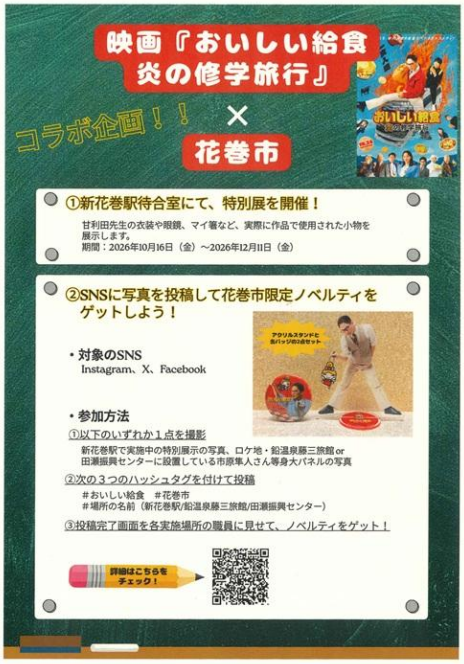




どちらも平成２年ごろの写真です。
左は運動会での演奏。右は「森と湖に親しむ週間」湖上ステージでの演奏です。



お知らせ！



（花巻市ホームページより）花巻市と『おいしい給食』のコラボノベルティを作成しました。
新花巻駅での特別展示や、ロケ地の鉛温泉 藤三旅館、田瀬振興センターに設置している市原隼人さんの等身大パネルの写真をSNSに投稿してくださった方に、缶バッジ（ホログラム仕様）とアクリルスタンドをセットでプレゼントいたします。数に限りがございますのでお早めにご参加ください。詳しくは下記をご確認ください。

1. 以下のいずれか１点を撮影してください。

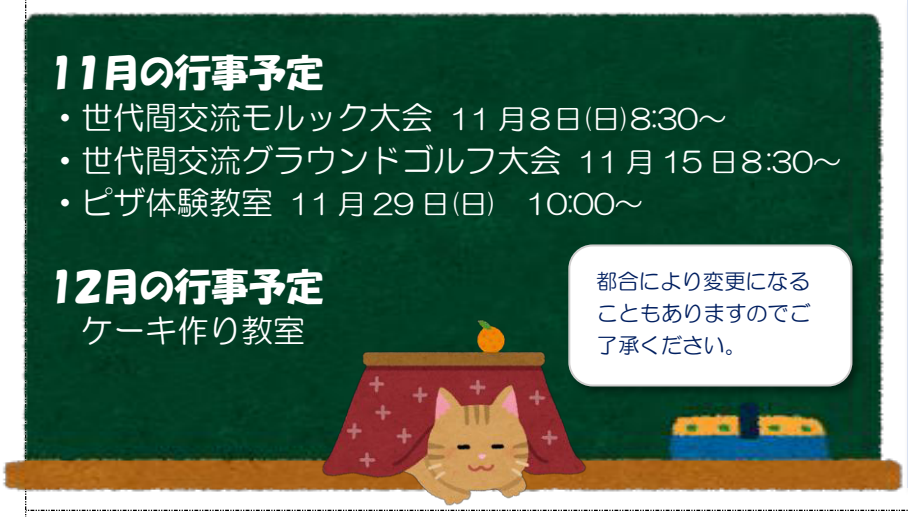
- 新花巻駅で実施中の企画展示の写真
- 【ロケ地】鉛温泉 藤三旅館に設置している市原隼人さん等身大パネルの写真
- 【ロケ地】田瀬振興センターに設置している市原隼人さん等身大パネルの写真

注）鉛温泉 藤三旅館と田瀬振興センターでは等身大パネルのみ展示しており、企画展示は行っておりません。

2. 次の３つのハッシュタグを付けて投稿してください。

＃おいしい給食　＃岩手県花巻市　＃場所の名前（新花巻駅／鉛温泉藤三旅館／田瀬振興センター）

3. 投稿完了画面を各実施場所のスタッフにお見せいただくと、ノベルティをお渡しします。



編集後記

恒例の「田瀬のみのりまつり」好天に恵まれ、たくさんの人でにぎわいました。その反面、野菜や、きのこの数量が昨年より少なく、買うことができない方も多かったようです。アミノメ・ナメコすくいに始まる前から長蛇の列、かあちゃん食堂やピザなどにも行列ができ、ご来場の皆様にご迷惑をおかけいたしました。反省点を改めまして、来年はさらにより良いイベントにしたいと思います。

田瀬地区の人口　―令和８年９月末現在―　（前月比）

行政区	世帯数	人数		
		男	女	計
田瀬第１	67	74	84	158
田瀬第２	27	29	26	55
田瀬第３	66	61	78	139
計	160	164	188	352



花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています。

すべてのお問合わせ先
田瀬地域コミュニティ会議　事務局電話　４４－５２８１まで